

中間バルクキャリア（IBC）への充填と空にする作業（液体）

適用範囲

本対策シートは、リスクレベル 3 が適用されるときに使用する。

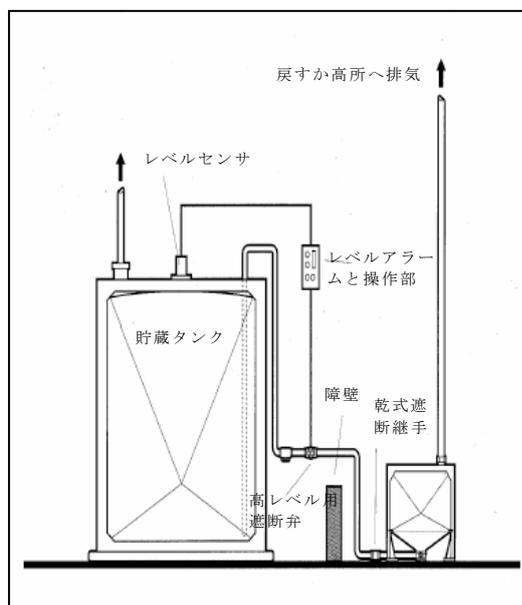
本対策シートは、中間バルクキャリア（IBC）に液体を充填するときの好事例、空にするときの好事例、および化学物質のばく露を許容できる濃度まで低減するために必要な注意事項を示す。すべての好事例と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全データシート（SDS）の注意事項を参照すること。

本対策シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他のリスク管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために利用してはならない。

作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置



- 中間バルクキャリア（IBC）、ポンプ、ホースなどの仕様が取り扱う原料に適しているか確認すること。
- 漏れた液体が貯蔵タンクに入らないように、障壁を設けること。この障壁で、中間バルクキャリア（IBC）の容積の 25% 以上を溜められること。
- 貯蔵タンクに、充填管、レベルセンサ、および蒸気口を接続すること。接続は漏れ溜め内とする。
- IBC に通気孔を設け、空気を貯蔵タンクに戻すか、扉、窓、吸気口、および通路から離れた安全な場所に放出すること。
- レベルセンサまたはロードセルを遮断弁に接続して、過充填を防ぐこと。
- 乾式遮断継手（乾式ブレーキカップリング）を使った底充填を推奨する。それが難しい場合でも、充填管を中間バルクキャリア（IBC）の底まで延ばすこと。
- フォークリフトの通り道を確認すること。
- 車両などが容器にぶつからないよう障壁を設けること。
- 引火性の液体を扱う場合は、装置を適切に固定してアースを確実に取り、防爆構造の電気機器を使うこと。

- 充填速度は 1m/s 以下として、静電気の発生を抑えること。

本シートは、ILO の著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省が ILO より許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本： http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-308.pdf

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.